



策定の趣旨

入間市の水道事業は、平成28年度を目標年次とする第5次入間市総合振興計画のなかで、住みよく美しいまちを実現するための施策の一つとして位置付けられ、安定した給水を推進するため、施設の整備や災害時の対策を充実し、安全で安定した水道水の供給に努めることを目的として計画的な事業推進を行っています。

昭和31年の給水開始以来、高度成長時代の工場進出や人口増加、入間市駅周辺整備事業等の住宅開発や公共下水道の供用開始、その後の経済成長による水需要の増大を背景に数次にわたる拡張事業が進められ、平成19年3月に竣工しました鍵山浄水場の改築をもって、計画をした主な施設改修を終了しています。

しかしながら、ここ数年は水の需要や民間の住宅建設が落ち込み、水道料金や水道利用加入金が減少する傾向にあります。

今後は、施設を効率的に維持管理し、計画的に更新することを基本に、施設の整理・統合、送水管や重要幹線の耐震化、老朽管の布設替えなどの取り組みを限られた財源の中で進めていかなければならない状況にあります。

こうした水道事業が置かれている状況を踏まえ、本市の水道事業の長期的な計画であり、水道事業運営の指針となる「入間市水道ビジョン」を入間市水道審議会と連携して策定し、その後、各地区における説明会を経て、平成22年3月に決定したものです。

計画の期間は、平成22年度から平成31年度までの10年間としていますが、社会情勢の変化や計画の進捗状況などに対応するため、前期5年が経過した時点において内容の点検や見直しを行い、時代に即した計画にしていきます。